



第43号（平成30年6月発行）

印刷・発行 越前市図書館友の会

〒915-0832

越前市高瀬二丁目7-24（越前市中央図書館内）

電話：0778-22-0354

tomonokai@lib-ci-y-echizen.jp

友の会だより

友の会からのお知らせ

2018 歴史講演会・骨董講座の お知らせ

・歴史講演会

『越前市での南北朝の戦い』

講師 元朝倉氏遺跡資料館館長

青木 豊昭氏

・月日 6月23日（土）

・時間 午後2時～3時30分

・場所 越前市中央図書館学習支援室

内容 越前市北町の旧家に伝わっていた「過去帳」の記載を吟味し、二峯城が岩内町周辺にあったとする新説を発表されましたことなどについてわかりやすくひとりでいただきます。

・骨董講座

『第二回アナログ・レコード盤の愉しみ』

講師 越前市図書館友の会会長

三田村 善衛氏

・月日 7月7日（土）

・時間 午後2時～3時30分

・場所 越前市中央図書館学習支援室

・歴史講演会

『坂本龍馬が目指した新国家建設』

講師 福井あすわ歴史道場会長

松下 敬一氏

・月日 9月8日（土）

・時間 午後2時～3時30分

・場所 越前市中央図書館学習支援室

図書館からのお知らせ

○地域読書講演会のご案内

・日時 6月9日（土）14時～15時30分

・演題 「近代日本の教育者 松本源太郎の生涯」

の生涯

・講師 齊藤 隆氏（越前市史編さん委員）

・会場 越前市中央図書館 学習支援室

定員 80名

・入場無料（要事前申込）

《展示・特集コーナー》

【中央図書館】

◎特別資料展示コーナー

・近代日本の教育者 松本源太郎

6月1日（金）～7月4日（水）

・詳細については、3ページの「展示コーナーのご紹介」をご覧ください。

◎【新設】シニア悠々コーナー

・人生100年！計画

アクティブで優雅な実り多いシニアライフのための本を集めました。

・詳細については、3ページの「シニア悠々コーナーのご紹介」をご覧ください。

◎一般展示コーナー

・さようならストレス

新しい職場や新生活でストレスを感じていませんか。元気になる本やCDを紹介いたします。

◎ティーンズコーナー

・YAにおすすめする絵本たち

・YAにおすすめする絵本たち

五月の晴れた日に

栗波 和夫

朝

小川のある裏庭の
木のテラスに羽蟻が湧いた

腹ぺこツバメは低空でひるがえり
朽ちかけた柱には
つぶらな瞳のこどもの青大将
羽蟻の行列を待ち受けている

夜

村国山に白い月がかかる
空っぽの街の
開け放した窓から

蝙蝠こぶもじが迷い込む
すべての灯りを消し
身を低くして 飛び去るのを待つ

この小さき庭に
けなげに生きようとすものたち

ふいに涙ぐみ

我ら欲望の愚か者

明日に何を残し得るか

五月の日曜日は雲ひとつなく

滋賀県高島市安曇川町田中

弦楽器の弓の弛みが心地よく

小浜 淡海 江南と

「水のある風景」さながら

竹の紙漉く

若狭町武生むしゅうから

河口へとたゆたう北川の向こうに

光る夏空

(連載第三回)

コレクター―悲話

三田村 善衛

アナログ盤レコードが再注目されている。
私みたいなレコード・コレクターにとって
は嬉しいような悲しいような話ではある。

以前のヒップホップの流行の頃から、クラ
ブDJがアナログ盤をさかんにプレイする
ようになって以来、若者の間でも珍しいア
ナログ盤を探し求めてそれを入手すること
が常識となってしまう。おかげで廃盤レ
コードは次々と値上げされ、都内の中古レ
コード店でも値がっり上がっている。

さらには一時期の流行だったネット配信
も今では落ち目になっており、CDの売り
上げも過去最低のようだ。その上、最近の
ミュージシャンは新譜をアナログ盤でもリ
リースするケースが増えている。あのパピュ
ムでさえもニューアルバムをアナログ盤で
発売するのだ。今や若者たちもアナログ盤
を購入するみたいで、プレイヤーやレコー
ド針の生産が急増していると聞く。一部大
手音楽会社ではアナログ盤の再発に意欲的
だ。

文明と共に科学が進歩し、我々の生活も
より簡便になっていく。しかし、若者らが
アナログ盤に注目し、ジャケットのアー
トや、暖かい音質を好む、むしろ時代の逆行
とも呼べるこの現象、テイストがあつてよ
いものではなからうかー。

(つづく)

シニア悠々コーナーのご紹介

●「シニア悠々コーナー」を新設

中央図書館では、5月よりシニア向けの特集コーナーを新たに設置しています。

世間では、団塊の世代の大量退職がほぼ終焉を迎え、今、図書館に通うシニア世代が増えています。毎日開館と同時に訪れ、お気に入りの雑誌や小説に目を通したり、新聞をじっくり読んだり、これまでゆっくり自分の時間が持てなかった方や、隣の中央公園だるまちゃん広場にお孫さんを連れてきて遊ばせついで来館される方も多いように感じます。

今や図書館は、シニア世代にとっては本に親しむ場所というだけでなく、顔なじみの方たちとの交流や憩いの場としての役割も大きくなってきています。

こうした流れを受け、越前市中央図書館では、シニア世代に関心の高い分野の本を特集した「シニア悠々コーナー」を設置しました。第1弾となる5・6月の特集「人生100年！計画く充実したシニアライフのために必要なお金と生きがい」では、

約200冊を集めました。人生100年が謳われるこの時代、今までよりも永い時を生きていく為に必要なことは何でしょうか。お金のこと、生きがいのこと、私たちは100歳までどう生きるのか。ここには充実したシニアライフのヒントが集まっています。本のジャンルは、年金や株など老後のお金に関するものから、茶道や書道、和裁、陶芸など人生を楽しむ趣味に関するものなど様々。近年はシニア層をターゲットにした雑誌・書籍の発売も数多く、五木寛之さん著の『百歳人生を生きるヒント』

(日本経済新聞出版社)や弘兼憲史さん著の『弘兼流60歳からの手ぶら人生』(海竜社)、昨年のベストセラーにも選ばれた佐藤愛子さん著の「九十歳。何がめでたい」(小学館)など、話題の本も次々と誕生しています。

今後は「孫育て」、「脳力アップ」、「介護の心がまえ」、「終活」、「セカンドライフ あなたは何をしますか?」など2か月ごとにテーマを替えて特集していきます。予定ですので、ぜひ図書館に立ち寄っていただき、充実したシニアライフを送るためのヒントを探してみてくださいはいかがでしょうか。

展示コーナーのご紹介

「近代日本の教育者 松本源太郎」から

今年が明治元年から150年にあたることを記念して中央図書館では、明治期の近代教育に尽力した松本源太郎を紹介します。越前府中本多家最後の家老・松本晩翠の長男として生まれた松本源太郎。帝国大学哲学科、イギリスのオックスフォード大学に学び、学習院教授や宮中顧問官を歴任しました。今回の展示では人物像をパネルで紹介するほか、帝国大学在学中のフェノロサの講義録など貴重な資料を展示します。

近代日本の教育を知る資料として『日本国民をつくった教育』をご紹介します。明治期の教育とは如何なるものだったのか。如何にして現代のものとなったのか。この国の教育の歴史をたどります。展示と併せて、ぜひご覧ください。

(H.F)

『日本国民をつくった教育』寺子屋からGHQ

の占領教育政策まで―

沖田行司／著

ミネルヴァ書房

2017・1



今月のお勧め本

特集『ちようならストレス』から

新年度になり新しい環境での生活にも慣れてきた今日このごろ。

イライラしたり疲れたりストレスを感じてはいませんか。今回は、心と体が元気になる本やCDなどを集めました。泣ける小説で涙を流したり、ヨガで体を動かしたり、ストレスとの付き合い方を見直せば、毎日をもっと楽しく過ごせます！

その中から紹介する本は『科学的に元気になる方法集めました』です。この本は、科学的に根拠を持った元気になれる方法がまとめられています。生活の中で実践できるものばかりで、研究結果からどう行動すればいいのか簡潔に書かれていてわかりやすいです。研究者や研究論文で紹介されているものだけを集めているので、内容に説得力があり、元気に暮らすコツの効果を実感してみたくなる1冊です。

(I.N)

『科学的に元気になる方法集めました』

堀田 秀吾／著

東京株式会社文響社

2017・2



武生公会堂記念館行事等案内

夏休み企画展

越前和紙ペーパークラフトでつくる

世界の生き物展

展示室2・3・貴賓室

和紙の国内最大の生産地である越前市では、昨年「越前鳥の子紙」が国の重要無形文化財に指定されました。

今回、越前和紙を使ったペーパークラフトで作られた世界の様々な生き物たちを、テーマごとにブースを設置して展示します。

7月6日(金)～9月2日(日)

【休館日】毎週月曜日(国民の祝日の場合は開館)

国民の祝日の翌平日(土曜日・日曜日は開館)

【開館時間】午前10時から午後6時

(入館は30分前まで)

【観覧料】一般200円

※高校生以下、障がいのある方とその介助者(1人まで)は無料

●体験ミュージアム

「越前和紙を使ってものづくり」

・8月4、5日(土・日) 時間午後1時～

ペーパークラフト教室

・8月11日(土・祝) 時間午後1時～
屏風づくり教室

・8月12日(日) 時間午後1時～
和紙バックづくり教室

・8月18、19日(土・日) 時間午後1時～
ペーパークラフト教室

・場所 武生公会堂記念館 貴賓室

・講師 8/4・5

・内藤武士氏(シビイギャラリー)

8/11以降

・内藤秀信氏(ごじら工房)

・定員 各日20名まで

※事前申込不要

・材料代 実費 500円

図書館友の会会員募集中

年会費500円(会の運営に充てさせていただきます) カウンターへ申し込んでください。

編集後記

▼さわやかな春もすでに梅雨にさしかかります。皆様様、体調にご注意を。(三田村)

▼うっとおしい梅雨はおいしいコーヒードも飲みながらの読書もよいですね。(栗波)

▼新設されたシニア向けの「シニア悠々コーナー」を利用して人生を楽しむ本を見つけましょう。(村上)